

## ▶ 相談から解決まで

法政大学は、全ての構成員に相談・申立ての権利を保証し、ハラスメント防止・対策委員会の下、相談窓口を開設するなど問題解決のための体制を整備しています。

### ハラスメント相談室

#### 相談予約

電話またはメールでお申込みください

#### 面談で一緒に解決策を考えます

自己解決・関係部局との連携・環境調整など、内容に応じた解決を目指します

申立て制度の利用についてサポートします

### ハラスメント防止・対策委員会

申立書の提出を受けて、緊急の改善措置や話し合いなどによって解決を目指します

#### 審査委員会を発足させ必要な手続きを行います

緊急・仮の措置

処分の勧告

話し合いによる解決

ハラスメントが認定された場合は処分の勧告を含む報告書を提出

総長

適切な措置

### ハラスメント相談室は……

- 相談室スタッフが協議した内容に基づいてアドバイスをします。
- 家族や信頼できる友人、教職員と一緒に来室することもできます。
- ハラスメント予防のための取り組みをします。
- ハラスメントに関する必要な知識や情報を提供します。

### 専門相談員がお話を伺います

- 相談者のプライバシーに配慮し、相談者の承諾なしに外部に情報をもらすことはありません。
- 必要な場合には、相談者の所属するキャンパス・付属校に出向くこともできます。

### 法政大学 ハラスメント相談室

開室時間 月～金曜日  
9:30～11:30、12:30～16:30  
(土日祝は閉室 11:30～12:30は応相談)

TEL 03-3264-4409  
FAX 03-3264-4410  
MAIL stopharass@hosei.ac.jp  
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1  
法政大学 ハラスメント相談室 宛

### どうぞ安心してご相談ください

詳しくは、法政大学ハラスメント相談室の公式Webサイトをご覧ください。



法政大学 ハラスメント相談室 検索

# No Harassing!

ハラスメントのない  
大学を目指して!



## 法政大学 ハラスメント相談室

# 法政大学では ハラスメントを 禁止しています



## セクシュアル・ハラスメント

- 執拗な交際の誘いをする
- 性的な誹謗中傷を流布する
- 「女らしくない」「男のくせに」等の性差別、性役割観を押しつける
- 性的指向や性自認に関する差別的言動や嫌がらせをする

※ 教員と学生、上司と部下のように地位の上下関係がある場合以外にも、教職員間、学生間又は、学生から教職員に対して生じる場合もあります。また異性間だけでなく同性間で生じる場合もあります。

## アカデミック・ハラスメント

- 学生を劣等者扱いするような侮辱的な対応をする
- 正当な理由なく、教育・研究指導をしない
- 教育・研究に無関係な雑務または私用を強要する

## パワー・ハラスメント

- 人格を否定する発言をする
- 身体的・精神的な攻撃(暴行・暴言・強迫・侮辱など)をする
- 業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことを強制する

## 妊娠・出産等に関するハラスメント

- 上司・同僚が「妊婦はいつ休むかわからないから仕事は任せられない」と言う
- 上司・同僚が「妊娠するなら忙しい時期を避けるべきだった」などと言う

## 育児休業・介護休業等に関するハラスメント

- 育児休業の取得について部下に相談され、「男のくせに育児休業をとるなんてあり得ない」と言う
- 介護休業を取得したいと周囲に伝えた同僚に、「自分なら請求しない。あなたもしない方がいい」と言う

## ▶ 加害者にならないために

- お互いの人格を尊重する姿勢を持ちましょう。
- 固定的な性役割観や性別意識を押し付けることは避けましょう。
- 立場が上の人(指導者や先輩)は十分な配慮をしましょう。「NO」の意思表示がないからといって、合意・同意とは限りません。
- 相手が自分の言動を不快と感じているとわかったら、すぐに止めて謝罪しましょう。

## ▶ ハラスメントを見かけたら

- 身の回りで起きたハラスメントを見過ごさない勇気を持ちましょう。

## ▶ 相談を受けたら

- 必要に応じてハラスメント相談室を勧めてください。
- 相談内容等知り得た情報は、本人の意向を尊重し慎重に扱う事が必要です。

## ▶ ハラスメント被害に遭ったら

- ひとりで悩まず、まず身近な人に相談するか、ハラスメント相談室に連絡してください。
- あなたが受けた言動について、「いつ、どこで、だれから、どのようなこと」などがわかる記録を残しておく、相談・申立ての際に役立ちます。
- 暴力行為などで心身に危険を感じたり緊急を要する場合は、迷わず周囲の人に助けを求め、警察に連絡をしてください。

